

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

彩の国ペタンク通信

VOL 13

発行者：埼玉県ペタンク協会

企画・編集：広報部（中村）

Tel・Fax：048-536-6939

omoikkirifatoj3@nexyzbb.ne.jp

〈 新年度を迎えて 〉 埼玉県ペタンク協会会長 河部 耕喜



手に持つボールが冷たく感じなくなり、いよいよ「ペタンク」の季節になりました。ここ数年、埼玉県協会の会員数は、多少の増減がありますが約280名で推移しています。他のスポーツと同様に、高齢化が著しく進んでいるのが現況です。埼玉県協会ならびに各支部協会や各クラブが、初心にもどり、組織を充実させて「ペタンク」の普及をより強く進めなければなりません。特にジュニア世代や青年層への普及に努め、協会加入推進を図ることが大切であると考えます。

現在、県協会に於いては、指導部を中心に初心者に向けての講習会を県内各地へ赴き、普及に努めています。初級指導員も各支部に増え、指導体制も徐々に整ってきました。生涯スポーツ「ペタンク」の魅力を皆様からお近くの方々へ、声をかけて頂ければ幸いです。それですぐに会員増加にはつながりませんが、地道な活動が大切なのではないでしょうか。

昨年の広島県尾道市での第27回日本選手権において県代表は、男子3位、女子優勝（埼玉県3連覇）と輝かしい成績を上げました。今年は山梨県甲府市で行われます。県代表の活躍が大いに期待されます。埼玉県代表になるには7月13・14日にある選考会で、少なくとも3位にならないと行けません。レベルの高い熾烈な戦いをするので大変ですが、皆さんのチャレンジを待っています。

また、7月27・28日に秩父市で東日本協会対抗ペタンク大会が開催されます。他県からたくさんのチームが参加しますので、埼玉県のチームも力試しと交流を兼ねて多数参加しましょう。他にもジャパンオープン、ねんりんピック、関東ブロック大会等もあります。県内に於いても、県協会主催大会、各支部協会主催大会が多数行われます。仲間を誘い合って、楽しく明るく元気にペタンクをしましょう。県協会主催大会では、送迎の計画を立てていますので、車に乗れず会場まで脚がないので参加を控えていた方々にもチャンスが出てきました。ボールが当たるあの金属音や歓声が今年も、あちらこちらから聞こえることでしょう。

〈 平成24年度 事業部の活動を振り返る 〉

事業部では、以下の6つの県協会主催事業を行いました。1つ1つの事業を振り返ってみます。

第2回さくら草杯シニアオープン大会 4/8 トリプルス 29チーム、83名参加（一般3名）

普通のグラウンドが取れず、砂利のテランになってしまったせいか、参加人数は去年をやや下回ってしまいました。しかし、随所でかなりハイレベルな試合が、展開されていました。ティールコンテストでは、80歳以上の方が銀メダルを獲得し盛り上がりを見せました。また、参加賞として、手作りの「ほうとう」を用意しました。選手の皆さんに喜んで頂けて、スタッフも苦勞が報われたようでした。

第2回コバトン杯ダブルス選手権大会 6/17 ダブルス 65チーム129名参加（ジュニア7名）

今回ジュニアの部とスーパーシニアの部を新設し、更なる充実を図りました。前回のような大会のバッティングもなかったので、





参加者は大幅に増えました。ジュニアは4チームの参加にとどまりましたが、大会に活気と華やいだ雰囲気をもたらしました。ジュニアの普及活動を行って、今後も参加数が少なくても実施し続け、ジュニアが目標にする大会にしていきたいと考えています。また、スーパーシニアの部では、予想を上回る28チームが参加し、大いに盛り上がりました。この部も、本大会の特色として定着していけるよう努力したいと考えています。



スーパーシニアの部では、予想を上回る28チームが参加し、大いに盛り上がりました。この部も、本大会の特色として定着していけるよう努力したいと考えています。

日本ベタンク選手権大会・埼玉県予選 7/15・16 トリプルス 18チーム54名参加

気温38度を超える灼熱の決戦は男子12チーム、女子6チームの間で繰り広げられ以下の結果となりました。男子1位：過労吉（清水英央・柳澤直利・今泉利明）2位：きじ丸&ダンディーズ（中村孝・宮城修一・泉忠明）3位：坂戸柳桜（山名富喜・高橋憲次・稲垣政英）女子1位：川本ジャンプ（清水葉子・興津里子・渡邊真由美）2位：チャコリンズ（佐々木久子・泉恵美子・綾部栄子）3位：大沼レディース（大野一恵・大野好子・富田敏江）に昨年度ディフェンディングチャンピオンの埼玉A（井上まち子・今泉君子・大澤廣美）を加え総勢21名7チームでの日本選手権挑戦となり、ご存知のとおり、女子は埼玉Aチームが2連覇し、埼玉県として女子3連覇を果たしました。また、男子も16年ぶりに埼玉Bチームが3位入賞し、健闘しました。

第24回彩の国埼玉オープンベタンク大会 8/12

トリプルス 53チーム 159名（一般14名）参加

見込みをやや下回る53チームの参戦でした。例年通りの猛暑となり、氷プールや日除けテント、救護テントを設置して対応しましたが、その救護テントに体調不良を訴える選手が12名（いずれも軽症）出ました。参加者の年齢や体力の消耗を考えると開催時期の見直しをする必要を感じ、平成25年度は6月開催に致しました。



第3回フェデレーションカップ 1/27 トリプルス

30チーム 90名参加

本来予定されていた加須のグラウンドは霜の影響でコンディション不良の恐れがあったため、急遽、深谷市の黒田ベタンククラブのベタンク専用コートに変更して、極寒の中30チームが参加し熱戦を繰り広げました。冬季のため時間が短く、しかし、ベタンクの試合を十分楽しめるように、今年は最初からトーナメント戦という新形態の試合方法を採用しました。小学生選手が入るチームが準優勝したことは特筆でした。



第4回クラブ対抗選手権大会 3/10 全種目（トリプレット、ドゥプレット、テットアテット）8団体60名参加

トリプレット、ドゥプレット、テットアテット）8団体60名参加



昨年同様8団体が参加しました。各クラブ・支部協会の名譽をかけて、熱い対戦となりました。優勝の栄冠はチームワークで勝った三芳町ベタンク協会の頭上に輝きました、準優勝は熊谷市ベタンク協会、3位は川本ベタンククラブでした。昨年度の反省から、ゴルフのベスグロ賞のような最多勝利賞を新設しました。その最多勝利賞は、熊谷市ベタンク協会が

獲得しました。

本年度も、企画を充実させて、会員皆様の楽しめる大会を運営していきますので、県内の各支部協会・クラブの皆様、奮って参加してください。
(埼玉県ベタンク協会/事業部長 吉澤 誠)

《平成24年度 指導部の活動》 ~その成果と課題~

平成24年度、指導部では、「楽しむベタンク」指導と技術力アップの講習とを上手くかみ合わせながら活動することを目標に年間計画を組みました。

まず、地域の健康つくりとコミュニケーションを深めるために大いに活用して頂きたい「楽しむベタンク」には、埼玉県全域に散らばるベタンク指導員50名余との連携を図りながら、地域に根差した形で進めました。

簡単に導入でき、飛ぶ・跳ねる・走る等の力が特に必要なく、手と指と頭と全身をゆったり使い、行ったり来たり歩く運動、体の自然な動きの中での投球動作、そして会話、高齢者や子供達の健康維持や集中力に役立つ、世代間の交流に楽しみながら出来る利点をしっかり伝えるように努力しています。ベタンクは、ほんの2~3時間でもすぐに覚えられ、ゲームを楽しんでいただく事が出来ます。

次に、平成24年度に実践した講習例を紹介します。

埼玉県松伏町の依頼による年4回のベタンク講習会

対象は地域シニアグループの交流と健康維持を目的に3年前から行っています。初めて取り組みをしたときは参加者が20人程度でした、ベタンクとは?からはじまり、まずは体験し、知っていただく事でしたが、回数を重ねて行くうちに試合を楽しむようになってきました、上手に指導する事よりも私たちが一緒に楽しむことで思いが伝わり、今では毎回30人以上の参加で多い日は60人となり嬉しい限りです。

しかも、今では地域のグループで毎日楽しみながらベタンクをしてくれているとのこと、会話も多く生きがいになっていると聞くと私たちもやりがいを感じ一生懸命になれる力が湧いてきます。

さいたま市や秩父市や坂戸市におけるベタンク講習会



さいたま市、秩父市、坂戸市では、各市のベタンク支部協会の要請から、毎年定期的に講習会を実施しています。徐々にその成果が出てきて、ねりんピックに出場したり、地元の大大会で入賞できるようになってきました。参加者の皆さんは、熱心に取り組んでいました。(左はさいたま市、右は坂戸市のベタンク講習会写真)



城西健康市民大学「ベタンク講座」

また、埼玉県の選手会が、城西大学理学部教授の武藤幸政氏によるスポーツ心理学の講義を、「トップアスリートの条件」と題して3回に渡って行ったのがきっかけで、城西健康市民大学のカリキュラムに、ベタンク講座を取り入れていただきました。たくさんの方に参加いただきました。そして、既に今年の依頼も受け、講習会にどう楽しんでいただけるかで計画に力が入っています。(右の写真は、城西健康市民大学「ベタンク講座」風景)



埼玉県内には生きがい作りの為のシニア大学が、幾つもあると聞いています。それぞれの地域で健康に学び楽しむ団体同士で開催する親善交流の場で、年1回でもペタンクを交流に利用していただければと考えています。

白岡市の親子ペタンク教室と熊谷市立三尻中学校のペタンク体験講座および学童保育のペタンク体験教室

目的はやはり楽しくですが、将来は「世界大会に参加できる子供たちの育成に力を入れていきたい」と願い、取り組んでいます。子供達は柔軟性があり、上達も早い。また、ペタンクは比較的運動量が少ないため、運動に自信を持ってない子でも上手に出来るという特徴があります。また、集中力や精神コントロールの成長を促し、大人とのコミュニケーション力もゆったりと養ってゆけることが大きな特徴です。講習時には、安全性に十分な配慮が必要ですから、多くの指導員を動員します。短時間の中で集中させて、休憩を上手く利用して飽きさせないように指導しました。

(秩父合宿でのジュニア選手の練習風景)



(熊谷市立三尻中学校でのペタンク体験講座)



また、中学生くらいになると試合の展開に興味湧いてきます。技術的な向上も要求してきますので、世界やアジアの大会参加経験のある指導員も用意して臨んでいます。子供達の国際交流は大きな夢を育みます。

(アジア選手権の日本ジュニア選手たち)



(アジア選手権の開会式)



成長の段階でどんな子供も運動は不可欠ですが、運動部に入って自信の持てる子供ばかりではありません、心と身体のバランスを上手にとり、成長期を乗り越えてくれたらと思いつつ、レクリエーション的な要素があるペタンクを、ジュニア普及に自信を持って進めています。

今後は、社会体育としての意味も含め、学校との繋がりの中に、地域での活動を上手く生み出していければと考えています。子供から高齢者まで続けられる生涯スポーツを目指して、一世代ではなく何世代にも繋がるスポーツとして、ペタンク競技に取り組んでいきたいと思えます。

ペタンクを体験してみたい方や、地域交流に利用したい等の要請があれば、皆さんの目的に合った形で指導部は対応していきます。是非、埼玉県ペタンク協会に気軽にお問い合わせください！！

(埼玉県ペタンク協会/指導部長 井上まち子)

《平成24年度 審判部の活動を振り返る》

埼玉県ペタンク協会の審判部が2009年に立ち上り、毎年、年2回の競技規則講習会を県内各地で開いてきました。今年度までに8回と県内外のクラブからの依頼で5回、計13回と経験積み、講師として自信を持って講義できるようになりました。

初心者を対象に分かり易く、マナーにも注意してゲームの進行を妨げない規則を中心に解説を心掛けています。愛好者がペタンクの理解を深めて、より楽しくプレーできることを目的として活動しています。県協会員以外の方たちも受講しています。

県内には、A級審判員2名、B級審判員3名(暫定2名)と2012年の春にC級審判員検定会が行なわれて今までの23名が一気に88名と増えました。この大勢の審判員に経験を積んでもらうために県協会主催の大会や審判部に依頼があった各地の大会に審判員を派遣しています。

スポーツあるいはレクリエーションのペタンクを競技として成立させ、隆盛を図るには、大会組織の機能を作り上げなければなりません。その中の一つに、審判員の重要性和制度があります。審判を専任させ審判員の職務を遂行させることが大事です。そこで、優秀な審判員を養成することが必要となってきました。審判員の技量の向上と知識の豊かさを深める為に、C級審判員有資格者を対象に全5回の「審判員セミナー」を企画し、約40名の方が受講されました。

講義内容は、審判員の職務、距離の測定の仕方、事例研究、模擬規則講習、ヒアリングテスト、ペーパーテスト等を勉強しました。受講者の皆さんには、是非実践での審判員の経験を積んでいただきたいと思ひます。

2013年の計画は、審判員セミナーの発展形として、年4回の誰でも参加できる「審判・規則勉強会」を開く予定です。参加費は無料で、疑問や競技規則の質問、要望等がある方の参加を待っています。詳細は審判部までお問い合わせ下さい。

2012年には埼玉県ペタンク協会独自の審判員ユニフォームを作りました。県協会でL、M、S各2枚を保有しています。各支部の競技大会での使用希望者に貸出しをいたしますので審判部までお申し込み下さい。

これからも競技規則が皆さんに理解され、浸透するよう易しく丁寧に解説していきますので宜しくお願いいたします。
(埼玉県ペタンク協会/審判部長 柳澤直利)

《平成24年度 選手会の活動を振り返る》



平成23年度に指導部の下でスタートした活動も、24年度は指導部より独立して本来の「競技志向で高みを目指す」というスタイルを基軸にした新生「埼玉選手会」としてリニューアルオープンしました。主な練習内容は

ポアンテにおけるボールコントロールの技術と実践練習

ティールにおける的中確率の向上をめざす練習

現場を想定したアトリエの攻略と戦略の研究

等々で、まだまだやりきれおらず課題は

山積みですが、一つ一つ積み重ねて、志を共にする埼玉の仲間と成長していきたいと思っています。選手会の活動で忘れてならないのは、この活動を様々な角度から支えて頂いている井上まち子指導部部長と指導部員の方々の存在です。現選手会のスタッフのみの力では、理想に近い活動はまなりません。指導部の皆さんの温かい協力があったればこそこの選手会の活動でした。この場をかりて皆さんに感謝いたします。



尚、平成25年度の活動は、平成24年度の活動に反省を加え、さらに磨きをかけていき、参加者各々が各大会で結果を出せるような取組にしていきたいと思っています。

例えば、一つの具体案として、まだ草案段階ではありますが、タイやベトナムなどアジアのベタンク先進国の一流選手やコーチを埼玉に招聘して、合同練習や練習試合やコーチング等を体験学習する企画を考えています。本年度の秋に、実現できるよう行動していきます。

こう書いてくると「埼玉選手会」は敷居が高く感じられるかもしれませんが、選手会員さんの中にはベタンクを始めてまだ1～2年という方もおり「やる気」さえあればついてこられる「楽しく共に向上しようという雰囲気」ですので、興味のある方はお気軽にお声掛け下さい。(埼玉選手会 事務局 稲垣政英)

《 第4回 県協会クラブ対抗選手権大会 》

3月10日(日)に、三郷市のみさと公園ベタンク専用コートにおいて、第4回県協会クラブ対抗選手権大会が行なわれました。昨年度優勝の坂戸市から優勝杯の返還が行われ、今年こそはと意気込む面々の顔は自信にあふれ、各支部協会・クラブの代表を自覚していたように思われました。予報では日中に寒冷前線が通過し、強風になり雨が降る心配がありました。午後の予報とは裏腹に、午前中は初夏の日差しを思い起こす良い天気、風も爽やかで、まさにベタンクにうってつけの天候でした。半袖の選手も現れました。

大会に参加したのは8団体で、全団体が総当たりの7試合を1日で行う、ややハードな日程で進めました。試合は1時間の時間制限で、10分のインターバルを取って次の試合に進み、シングルス、ダブルス、トリプルの3試合を同時に行うという形で進めました。天候も考え、昼食の時間は特に取らずに進めました。午前中は順調に3試合を消化しましたが、4試合目を始めるときに強風が吹き始め、一時中断を余儀なくされましたが、日没前に全28試合を消化する事ができました。



優勝 三芳町ベタンク協会



2位 熊谷市ベタンク協会



3位 川本ベタンククラブ

第4回埼玉県ベタンク協会クラブ対抗選手権成績表

平成25年3月10日
会場:みさと公園

№	チーム名	試合方式	上尾	三郷	三芳	さいたま市	坂戸	川本	熊谷	秩父	勝敗	勝利数	順位
1	上尾	シングルス	●	●	○	○	●	●	●	●	3勝4敗	9勝	4位
		ダブルス	○	○	○	●	○	●	●	●			
		トリプル	○	●	●	○	●	●	○				
2	三郷	シングルス	○	●	○	○	○	○	○	○	2勝5敗	10勝	6位
		ダブルス	●	○	○	○	○	○	○	○			
		トリプル	●	○	○	○	○	○	○	○			
3	三芳	シングルス	○	●	○	○	○	○	○	○	6勝1敗	13勝	1位
		ダブルス	●	○	○	○	○	○	○	○			
		トリプル	○	○	○	○	○	○	○	○			
4	さいたま市	シングルス	○	○	○	○	○	○	○	○	1勝6敗	5勝	8位
		ダブルス	○	○	○	○	○	○	○	○			
		トリプル	○	○	○	○	○	○	○	○			
5	坂戸	シングルス	○	○	○	○	○	○	○	○	3勝4敗	11勝	5位
		ダブルス	○	○	○	○	○	○	○	○			
		トリプル	○	○	○	○	○	○	○	○			
6	川本	シングルス	○	○	○	○	○	○	○	○	5勝2敗	13勝	3位
		ダブルス	○	○	○	○	○	○	○	○			
		トリプル	○	○	○	○	○	○	○	○			
7	熊谷	シングルス	○	○	○	○	○	○	○	○	6勝1敗	15勝	2位
		ダブルス	○	○	○	○	○	○	○	○			
		トリプル	○	○	○	○	○	○	○	○			
8	秩父	シングルス	○	○	○	○	○	○	○	○	2勝5敗	8勝	7位
		ダブルス	○	○	○	○	○	○	○	○			
		トリプル	○	○	○	○	○	○	○	○			